



今回調達したEGR台座のフランジはスタッドボルト付なので、ナットでEGR tubeのフランジの固定をします。ボルト/ナットにアンチシーズを塗っておけば、将来の取り外しも容易です。

EGR Tube

Code32のエラーはこのチューブのクラックが原因となる場合も多いです。